

電子申請・通知システム

ご利用に必要な準備 ②

(ログインID及びパスワード配付後の環境設定)



令和4年6月

地方公共団体金融機構

～ 目次 ～

1. 環境設定

1. 信頼済みサイトへの追加(電子申請団体、書面申請(WEB入力)団体共通)
2. インターネット一時ファイルの設定(電子申請団体、書面申請(WEB入力)団体共通)
3. TLS1.2の有効化(電子申請団体、書面申請(WEB入力)団体共通)
4. 署名・検証ツールのインストールと環境設定(電子申請団体のみ)
5. ICカードリーダードライバのインストール(電子申請団体のみ)

2. 環境設定後の確認

1. ログイン確認(電子申請団体、書面申請(WEB入力)団体共通)
2. ログインID・パスワード変更(電子申請団体、書面申請(WEB入力)団体共通)
3. 署名に関する確認(電子申請団体のみ)

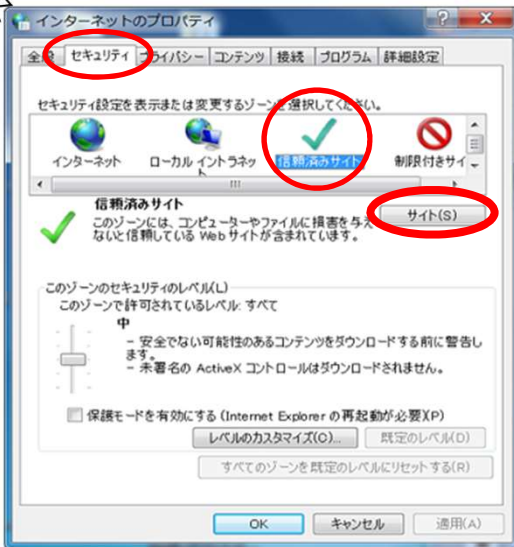
1. 環境設定

1. 信頼済みサイトへの追加

(電子申請団体、書面申請(WEB入力)団体共通)

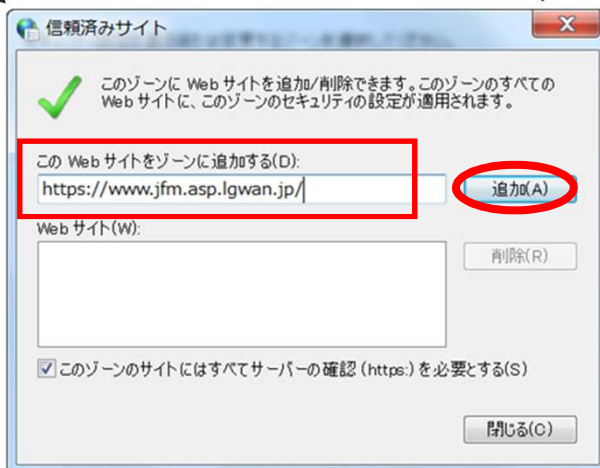
※電子申請・通知システムを使用するWindowsユーザー毎に設定を行ってください。

1



- ① Windowsの [スタート] — [コントロールパネル] の順に選択し、[インターネットオプション] を開き、インターネットオプション画面を表示します。
- ② インターネットオプション画面の[セキュリティ]タブを選択します。
- ③ 「信頼済みサイト」を選択した状態で、[サイト]ボタンを押下します。

2



信頼済みサイト画面の、「次のWebサイトをゾーンに追加する」テキストに下記URLを入力します。

<LGWAN環境の場合>

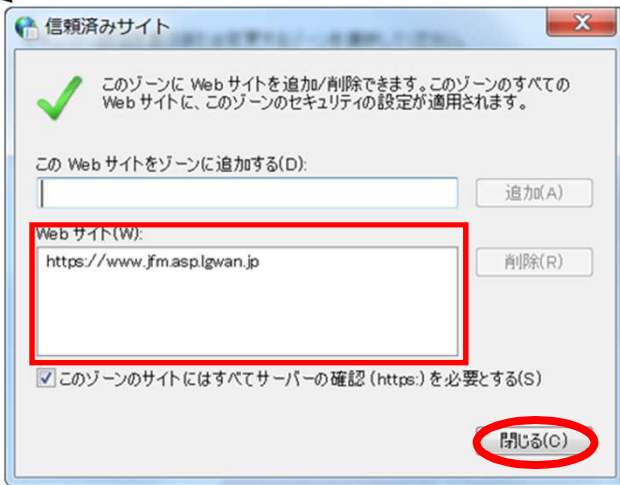
<https://www.jfm.asp.lgwan.jp/>

<インターネット環境の場合>

<https://shinsei.jfm.go.jp/>

[追加]ボタンを押下します。

3



「Webサイト」欄に入力したURLが追加されたことを確認し、[OK]ボタンを押下します。

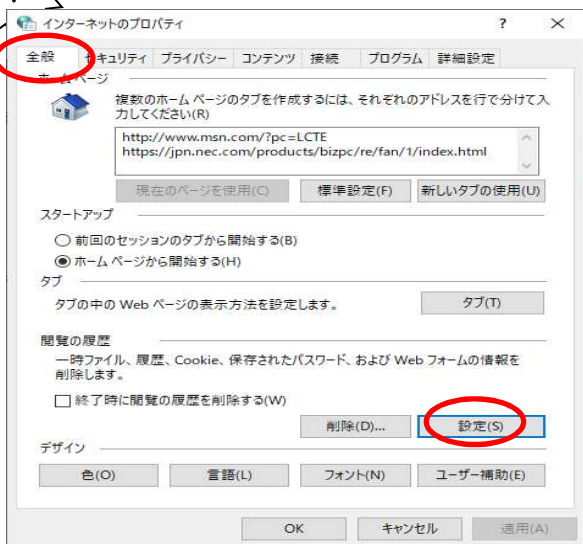
これで設定は完了です。



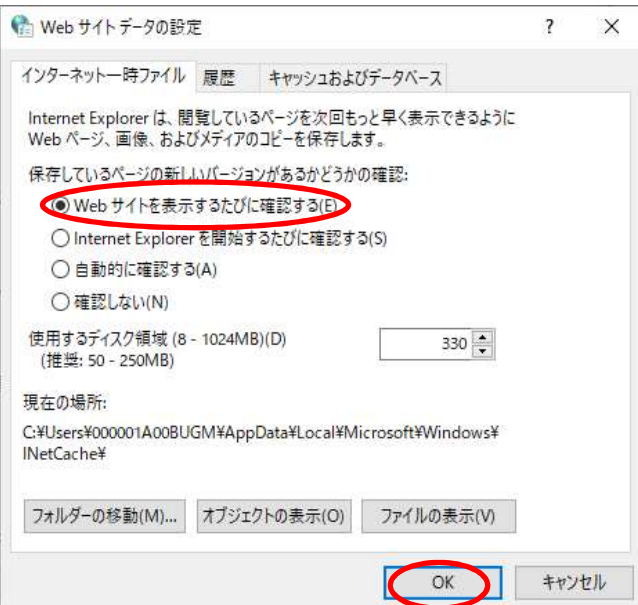
2. インターネット一時ファイルの設定 (電子申請団体、書面申請 (WEB入力)団体共通)

※電子申請・通知システムを使用するWindowsユーザー毎に設定を行ってください。

1



- ① Windowsの [スタート] — [設定] — [コントロールパネル] の順に選択し、 [インターネットオプション] を開き、インターネットオプション画面を表示します。
- ② インターネットオプション画面の[全般]タブを選択します。
- ③ [インターネット一時ファイル]の [設定]ボタンを押下します。



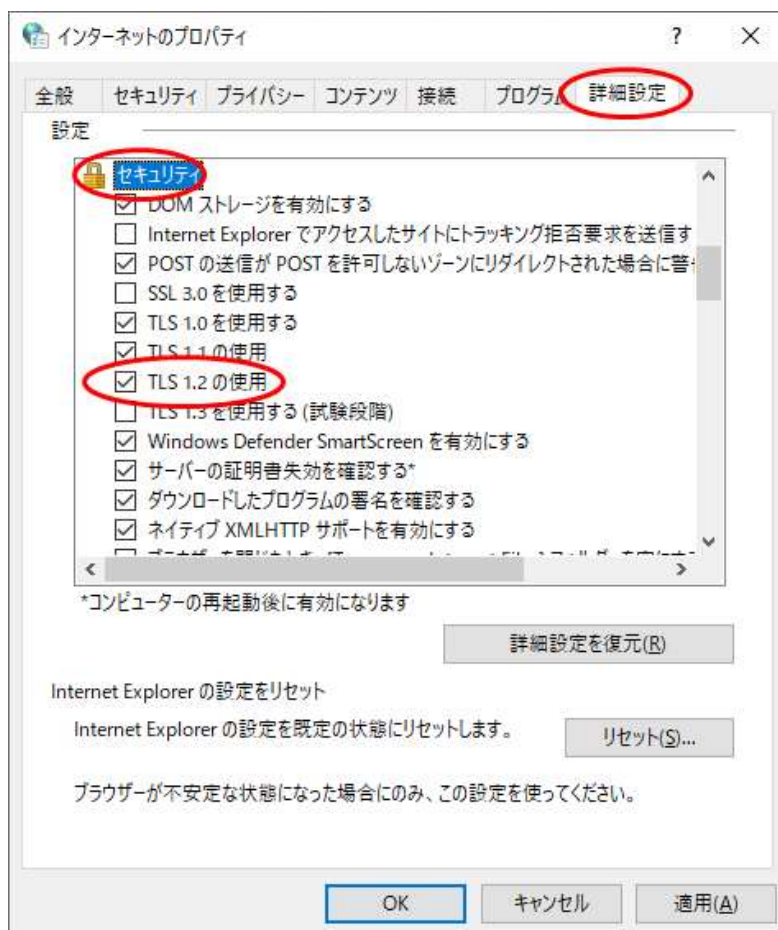
- ④ 設定画面が表示されましたら、「Webサイトを表示することに確認する」を選択し、[OK]ボタンを押下します。

これで設定は完了です。

3. TLS1.2の有効化

(電子申請団体、書面申請
(WEB入力)団体共通)

※電子申請・通知システムを使用するWindowsユーザー毎に設定を行ってください。



- ① Windowsの [スタート] — [設定] — [コントロールパネル] の順に選択し、[インターネットオプション] を開き、インターネットオプション画面を表示します。
- ② インターネットオプション画面の[詳細設定]タブを選択します。
- ③ セキュリティの項目までスライドし、【TLS1.2の使用】のチェックボックスを選択し、【適用】 → 【OK】 の順にボタンを押下します。



4. 署名・検証ツールのインストールと環境設定 (電子申請団体のみ)

「署名・検証ツール」は、基盤ソフトウェアとして「SecureWare/電子署名開発キット」を必要とします。従いまして、

- 電子署名開発キット
- 署名・検証ツール

という機構から提供する2つのソフトウェアについて、インストールと環境設定を行っていただく必要があります。

インストールと環境設定については、トップ画面に掲載している「署名・検証ツール 導入・操作マニュアル」を参照してください。

■ インストールにおける注意事項

以下の点に注意が必要です。

- インストールには**管理者権限 (Administrator権限)**が必要
- 署名・検証ツールの**インストール先フォルダに対して、一般ユーザの書き込み権限が必要**

貴団体のパソコン環境の管理部門にご相談の上、インストールを行ってください。

※詳細は「署名・検証ツール_導入・操作マニュアル」の3章～4章を参照。

■ 環境設定における注意事項

署名・検証ツールは、インストール後にネットワーク環境の設定が必要です。

以下の情報を貴団体のネットワーク管理部門にご相談の上、環境設定を行ってください。

- 地方公共団体情報システム機構から通知された証明書検証サーバのホスト名とポート番号
- 申請したアドレスで証明書検証サーバにアクセスするためのプロキシサーバのホスト名（またはIPアドレス）とポート番号

※プロキシサーバで認証を行っている場合は、これを回避するための設定／操作が必要ですので、貴団体のネットワーク管理部門にご相談ください。

※詳細は「署名・検証ツール_導入・操作マニュアル」の5.2を参照。

5. ICカードリーダーライタドライバのインストール (電子申請 団体のみ)

ICカードリーダーライタを動作させるためにはリーダーライタのドライバを事前にインストールする必要があります。

インストール手順については、ICカードドライバーソフトウェア媒体セット付属のマニュアルを参照してください。

既にインストールが完了している場合もありますので、パソコン環境の管理部門にご確認ください。



2. 環境設定後の確認

下記は、すべての環境設定作業が完了した後に行っていただく確認方法です。「1.ログインの確認」、「3.署名に関する確認」は必ず行ってください！

1. ログイン確認

(電子申請団体、書面申請(WEB入力)
団体共通)



- 電子申請・通知システムにログインできるか確認してみましょう！

ログイン画面


【確認①】

下記URLをインターネットエクスプローラのアドレス欄に入力し、ログイン画面を表示します。

<LGWAN環境の場合>
<https://www.jfm.asp.lgwan.jp/dantai/>

<インターネット環境の場合>
<https://shinsei.jfm.go.jp/dantai/>

左の画面が表示されましたら、電子申請・通知システムに接続できたことになります。



ログイン後、トップメニュー

地方公共団体金融機構
Japan Finance Organization for Municipalities

長期貸付 同窓(許可)前 短期貸付 借換債 債権管理 情報提供 その他

お知らせ

平成27年6月1日 【お願い】「署名・検証ツール」(Version 1.3.2)のインストールについて

LGPK証明書検証サーバのセキュリティ強化に伴い、「署名・検証ツール」を再インストールしていただく必要があります。「署名・検証ツール」をインストール済みの場合、一旦アンインストールしていただき、再度インストールをお願いします。なお、作業手順につきましては、「その他」ダウンロードメニューより、「署名・検証ツール 再インストール手順書」(検索条件は「署名モジュール」)を選択をご確認ください。

Copyright (c) 2014, Japan Finance Organization for Municipalities

【確認 ②】

上記ログイン画面より電子申請・通知システムにログインします。

団体コード：総務省が公表している「全国地方公共団体コード」を入力してください。

ログインID：上段は当機構から送付された申請ID（申請ID1～10）を選択してください。

下段は当機構から送付された初期ログインIDを入力してください。

パスワード：当機構から送付された初期パスワードを入力してください。

初めてログインされた場合は「ログインID・パスワード変更」の画面となります。「ログインID・パスワード変更」後、上の画面が表示されましたら、電子申請・通知システムへのログインが成功したことになります。

(注意)「ログインID・パスワード変更」を行っていただくまでは「ログインID・パスワード変更」以外の機能は使用できなくなっています。

ログイン確認を行って問題が発生した場合は下記のような原因が考えられます。



ログイン時にポップアップブロックが発生する。

「1. 信頼済みサイトへの追加」を行っていないか、設定が正しく完了していない可能性があります。

設定方法を確認の上、再度設定を行ってください。



2. ログインID・パスワード変更

(電子申請団体、書面申請(WEB入力)
団体共通)

「電子申請・通知システム利用申込書」の提出を受けて、当機構から初期ログインID及び初期パスワードを発行します。地方公共団体は、公付された初期ログイン及び初期パスワードを電子申請・通知システムに入力し、ログインします。

当機構から発行される初期ログインID・初期パスワードは初回ログイン用の「仮ログインID・仮パスワード」という位置付けに設定させていただきますので、初回ログイン後「ログインID・パスワード変更」画面により新しいログインID・パスワードを設定していただく必要があります。

なお、ログインID・パスワード変更がされるまでは「ログインID・パスワード変更」以外の機能は使用できなくなっていますので、以下の条件を満たす新しいログインID・パスワードの設定を行っていただきますようお願いします。

【ログインID】

- ・8文字以上であること
- ・英大文字、英小文字を組み合わせること

【パスワード】

- ・8文字以上であること
- ・英大文字、英小文字、数字を組み合わせること

3. 署名に関する確認 (電子申請団体のみ)

(i) 始めに電子申請・通知システムにログインし、テストデータを取得します。

① 電子申請・通知システムにログインします。
(ログイン方法は「P8.ログイン確認」を参照)

② 画面上部のその他メニューより「ダウンロード」をクリックすると、ダウンロード画面が表示されます。

ダウンロードメニューをクリック

掲載日	登録名
<input type="checkbox"/> 平成27年06月01日	署名・検証ツールの再インストール手順
<input checked="" type="checkbox"/> 平成29年09月29日	SecureWare/電子署名開発キット
<input type="checkbox"/> 令和1年07月25日	署名・検証ツール 導入・操作マニュアル
<input type="checkbox"/> 令和1年07月25日	二三四五六七八九十一二三四五六七八九十一二三四五六七八九十

③ ダウンロード画面の「区分」リストより「その他」を選択し、[検索]ボタンを押下します。

④ 登録されていた文書が表示されます。

- 署名付与テスト.pdf
- 署名検証テスト_xmlSign.xml
- 署名検証テスト.pdf

⑤ 一覧より、1つのテストファイルをチェックし、[ダウンロード]ボタンを押下します。

⑥ ファイルのダウンロードが完了しましたら、所定の場所にファイルが格納されます。

他2つの文書も同様の手順でファイルの取得を行います。なお、署名付与テストはLGWAN接続端末により待っていたき、署名検証テストはインターネット接続端末により行っていただく必要があります。

(ii) 署名付与の動作確認をしてみましょう！(LGWAN接続端末により実施)

- ① Windowsの[スタート] — [すべてのプログラム] — [地方公共団体金融機構 電子申請・通知システム] — [署名・検証ツール]の順に選択し、「署名・検証ツール」を起動します。
- ② 「署名付与」タブが選択されていることを確認します。
[参照]ボタンを押下し、(i)で取得した署名付与テスト.pdf(注)を選択します。
- ③ 署名対象ファイル欄に選択したファイルのパスが表示されていることを確認し、[署名付与]ボタンを押下します。

※ 操作の詳細は、「署名・検証ツール 導入・操作マニュアル」を参照してください。

上記確認が問題なく終了しましたら、ICカード、カードリーダーの動作確認と、署名付与が正常に実行されたことを意味します。



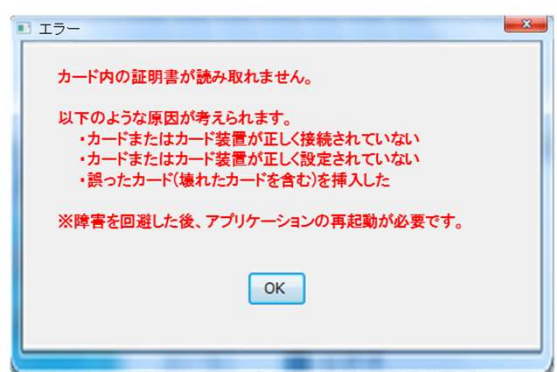
XX 署名付与が失敗した場合 XX

カード認証中に右のようなエラーダイアログが表示される。

- ・正しいICカードを使用していますか？
- ・カードが正しく挿入されていますか？(向き等確認してください)
- ・カード装置が正しく接続されていますか？

◆システム管理部門の方にご相談の上、以下の部分をご確認ください。

- ・ICカードリーダーのドライバはインストールされていますか？
- ・「P5,署名・検証ツールのインストールと環境設定」が正しく完了していますか？



上記確認を行っても解決できない場合、当機構までご連絡ください。

■ 電子申請・通知システムの署名テストで確認してみましょう！

① 電子申請・通知システムにログインします。
(ログイン方法は「P7.ログイン確認」を参照)

② 画面上部のその他メニューより「電子署名テスト」をクリックすると、電子署名テスト画面が表示されます。

③ 署名テスト画面の「PDFファイル名」欄の[参照]ボタンを押下し、(ii)署名・検証ツールで署名付与を行った署名付与テスト.pdfを選択します。

④ 同様に「XMLファイル名」欄の[参照]ボタンを押下し、(ii)署名・検証ツールで取得した署名付与テスト_xmlSign.xmlを選択します。

⑤ 「PDFファイル名」「XMLファイル名」欄に選択したファイルのパスが表示されていることを確認し、[テスト]ボタンを押下します。

⑥ 確認ダイアログが表示されます。[OK]ボタンを押下します。


⑦ 電子署名テスト結果画面にテスト結果が表示されます。

署名テストに失敗した場合、表示されているメッセージに従いPDFファイルとXMLファイルについてご確認ください。

※ 詳細は、「電子申請・通知システム操作マニュアル(地方公共団体用)」の「10.4. 電子署名テスト 失敗の原因」を参照してください。

電子署名テスト成功！

(iii) 署名検証の動作確認をしてみましょう！(インターネット接続端末により実施)

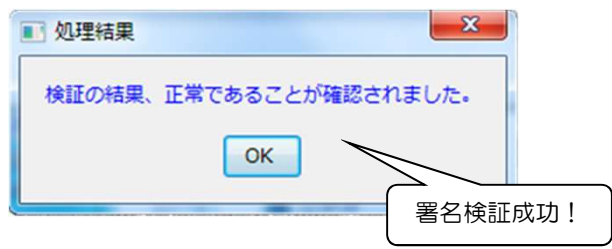


- ① 「署名・検証ツール」を起動します。
- ② [署名検証]タブを選択し、署名検証画面を表示します。
検証対象ファイル(原本)の[参照]ボタンを押下し、(i)で取得した署名検証テスト.pdf(注)を選択します。
- ③ 検証対象ファイル(XML署名)の[参照]ボタンを押下し、(i)で取得した署名検証テスト_xmlSign.xml(注)を選択します。
- ④ 検証対象ファイル(原本)(XML署名)欄に選択したファイルのパスが表示されていることを確認し、[署名検証]ボタンを押下します。

※ 操作の詳細は、「署名・検証ツール_導入・操作マニュアル」を参照してください。

署名検証が成功した場合処理結果ダイアログが表示されます。

(注) ご使用のパソコンの設定によっては拡張子が表示されないことがあります。



署名検証が失敗した場合、処理結果ダイアログの内容によってエラー原因が異なります！

XX 署名検証が失敗した場合 ① XX



右のような処理結果ダイアログが表示される。

検証対象ファイル(原本)と検証対象ファイル(XML署名)の不一致により起こるエラーです。

指定したファイルが正しいことを確認後、再度署名検証を行ってください。



上記確認を行っても解決できない場合は当機構までご連絡ください。

XX 署名検証が失敗した場合 ② XX



右のような処理結果ダイアログが表示される。

ネットワーク接続エラーの可能性があります。
エラー内容の切り分けを行うために、以下に示す確認を行ってください。



◆ ネットワークの接続確認

④

- ① Windowsの[スタート]-[コントロールパネル]の順に選択し、[インターネットオプション]を開きます。
- ② [接続]タブを選択し、[LANの設定]ボタンを押下します。
- ③ [自動構成]の[設定を自動的に検出する]と[自動構成スクリプトを使用する]のチェックを外して下さい。
- ④ 署名検証ツールの環境設定画面の[プロキシサーバのURL]の値をもとに、この[LANの設定]画面のプロキシサーバのアドレス（ホスト名でも可）とポート欄に記述します。
- ⑤ インターネットエクスプローラのアドレス欄に、環境設定画面の「証明書検証サーバのURL」の値を入力し、実行します。

インターネットオプション = LANの設定画面 =

③

⑤

下記ケース1、ケース2のような結果になりますので、それぞれの対応を行ってください。

ケース1

空白画面

ページが表示されました

ケース1：当機構にご連絡ください。

ケース2

サーバが見つからない等

ケース2：ネットワークの接続又は設定が正しくない状態です。ネットワーク管理部門にご相談ください。